





























(参考) 財務局及び財務事務所において判断した各地域の経済情勢

	総括判断 (2年1月判断)	前回の比較	総括判断の要点
北海道財務局	緩やかに回復している	➡	個人消費は、コンビニエンスストア販売が順調となっているほか、ドラッグストア販売が前年を上回っているなど、緩やかに回復している。生産活動は、弱含んでいる。雇用情勢は、着実に改善しており、人手不足感が広がっている。観光は、拡大に向けたテンポが緩やかになっている。
東北財務局	回復しつつある	➡	個人消費は、スーパー販売が堅調であるほか、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が前年を上回っているなど、緩やかに回復している。生産活動は、輸送機械が弱い動きとなっているものの、生産用機械は底堅い動きとなっているなど、一進一退の状況にある。雇用情勢は改善している。
➢ 青森	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は緩やかに持ち直しており、生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は改善している。
➢ 岩手	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は緩やかに回復しており、生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は改善している。
➢ 宮城	緩やかに回復している	➡	個人消費は緩やかに回復しており、生産活動は一進一退の状況にある。雇用情勢は改善している。
➢ 秋田	持ち直している	➡	個人消費は持ち直しており、生産活動は一進一退の状況にある。雇用情勢は改善している。
➢ 山形	緩やかに回復している	➡	個人消費は緩やかに回復しており、生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は改善している。
➢ 福島	回復しつつある	➡	個人消費は緩やかに回復しており、生産活動はおおむね横ばいの状況にある。雇用情勢は改善している。
関東財務局	生産に弱さがみられるものの、回復している	➡	個人消費は、スーパー販売額及び百貨店販売額が前年を下回っているものの、コンビニエンスストア販売額及びドラッグストア販売額が前年を上回っているなど、全体として回復しつつある。生産活動は、輸送機械、生産用機械、化学が減少しているなど、全体として足踏みの状況にある。雇用情勢は、改善している。
➢ 茨城	生産に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、百貨店・スーパー販売額が前年を下回っているものの、コンビニエンスストア販売額が前年を上回っているなど、全体として緩やかに持ち直している。生産活動は、生産用機械、化学、汎用・業務用機械が減少しているなど、全体として回復の動きに一服感がみられる。雇用情勢は、改善している。
➢ 栃木	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、百貨店・スーパー販売額や乗用車の新車登録届出台数が前年を下回っているものの、ドラッグストア販売額、コンビニエンスストア販売額及び家電大型専門店販売額が前年を上回っているなど、全体として緩やかに回復しつつある。生産活動は、弱含んでいる。雇用情勢は、改善している。
➢ 群馬	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している。生産活動は、一進一退の状況にある。また、雇用情勢は、改善している。
➢ 埼玉	生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、百貨店・スーパー販売額が前年を下回っているものの、コンビニエンスストア販売額が前年を上回っているなど、全体として緩やかに回復しつつある。生産活動は、生産用機械が増加しているものの、輸送機械、化学などが減少していることから、全体として一進一退の状況にある。雇用情勢は、改善している。
➢ 千葉	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある	➡	生産活動は持ち直しに向けたテンポが緩やかになっているものの、個人消費は緩やかに持ち直しつつあり、雇用情勢は改善している。
➢ 東京	一部に弱い動きがみられるものの、回復している	➡	個人消費や産業活動は、一部に弱い動きがみられるものの、回復しつつある。雇用情勢は、改善しており、人手不足感が続いている。
➢ 神奈川	生産活動を中心に弱さがみられるものの、回復しつつある	➡	個人消費は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、弱含んでいる。雇用情勢は、改善している。
➢ 新潟	一部に弱い動きがみられるものの、回復しつつある	➡	個人消費は、一部に弱い動きがみられるものの、回復しつつある。生産活動は、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は改善している。
➢ 山梨	生産活動の一部に弱い動きがみられるなど、足踏みの状況にある	➡	個人消費は一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直しているが、生産活動は一部に弱い動きがみられ、足踏みの状況にある。雇用情勢は改善している。
➢ 長野	生産活動に弱さがみられるものの、緩やかに回復している	➡	個人消費は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、回復のテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、改善している。
北陸財務局	拡大に向けたテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は、ドラッグストア販売が順調となっているほか、百貨店・スーパー販売が緩やかに回復していることなどから、緩やかに拡大しつつある。生産活動は、電子部品・デバイスが弱含んでいることや生産用機械が横ばいの状況にあることなどから、全体では横ばいの状況にある。雇用情勢は、着実に改善しており、依然として人手不足感が強い状況にある。
➢ 富山	回復のテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は回復しており、生産は横ばいの状況にある。また、雇用情勢は着実に改善しており、依然として人手不足感が強い状況にある。
➢ 石川	回復している	➡	生産活動は横ばいの状況にあるものの、個人消費は緩やかに拡大しつつある。また、雇用情勢は着実に改善しており、依然として人手不足感が強い状況にある。
➢ 福井	拡大に向けたテンポが緩やかになっている	➡	生産は横ばいの状況にあるほか、個人消費は拡大に向けたテンポが緩やかになっている。また、雇用情勢は着実に改善しており、依然として人手不足感が強い状況にある。
東海財務局	拡大の動きに一服感がみられる	➡	個人消費は、乗用車販売が弱含んでいるものの、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が増加しているほか、スーパー販売は緩やかに持ち直しているなど、全体では回復している。生産活動は、輸送機械を中心に高水準ながら弱含んでいる。こうしたなか、有効求人倍率が引き続き高水準となっているなど、労働力需給は引き締まっている。
➢ 岐阜	回復の動きに一服感がみられる	➡	個人消費は緩やかに持ち直しているものの、生産活動はおおむね横ばいとなっている。こうしたなか、雇用情勢は改善している。
➢ 静岡	回復の動きに一服感がみられる	➡	生産活動は、自動車関連や金属工作機械が弱含んでいるなど、全体では足踏みの状況にあるなか、雇用情勢は改善し、個人消費は緩やかに持ち直している。
➢ 愛知	拡大の動きに一服感がみられる	➡	個人消費は回復しているものの、生産活動は輸送機械を中心に高水準ながら弱含んでいる。こうしたなか、労働力需給は引き締まっている。
➢ 三重	回復の動きに一服感がみられる	➡	生産活動は自動車関連が弱含んでいるなど、全体では足踏みの状況にある。こうしたなか、雇用情勢は改善しており、個人消費は乗用車販売など一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。

(注) 2年1月判断は、前回元年10月判断以降、2年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

	総括判断（2年1月判断）	前回の比較	総括判断の要点
近畿財務局	緩やかに拡大しつつある		生産活動は、電気・情報通信機械等が低下しているなど回復のテンポが緩やかになっているものの、個人消費は、コンビニエンスストアやドラッグストア等の販売が堅調となっているなど緩やかに回復しており、雇用情勢も一層の改善が進んでいる。
> 滋 賀	回復しつつある		個人消費は緩やかに回復しつつあるほか、生産活動は緩やかに回復しており、雇用情勢は着実に改善している。
> 京 都	緩やかに拡大しつつある		個人消費は緩やかに回復しているほか、生産活動は緩やかに拡大しつつあり、雇用情勢は一層の改善が進んでいる。
> 大 阪	緩やかに拡大しつつある		個人消費は回復しているほか、生産活動は回復しつつあり、雇用情勢は一層の改善が進んでいる。
> 兵 庫	緩やかに回復している		個人消費は緩やかに回復しつつあるほか、生産活動は緩やかに回復しており、雇用情勢は着実に改善している。
> 奈 良	緩やかに回復しつつある		生産活動は持ち直しのテンポが緩やかになっているものの、個人消費は緩やかに回復しつつあるほか、雇用情勢は着実に改善している。
> 和歌山	緩やかに回復しつつある		生産活動は回復のテンポが緩やかになっているものの、個人消費は緩やかに回復しつつあるほか、雇用情勢は着実に改善している。
中国財務局	生産に弱さがみられるものの、緩やかに回復している		個人消費は、ドラッグストア販売や家電販売が好調であるなど、回復しつつある。生産活動は、輸送機械や汎用・生産用・業務用機械が減少しているなど、回復の動きに一服感がみられる。雇用情勢は着実に改善し、人手不足感が引き続き強い状況にある。
> 鳥 取	緩やかに持ち直している		個人消費は一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は着実に改善しており、人手不足感が継続している。
> 鳥 根	持ち直している		生産活動は回復に向けたテンポが緩やかになっているが、個人消費は緩やかに持ち直しの動きが続いており、雇用情勢は一部に充足感がうかがわれるものの改善が続いている。
> 岡 山	生産の一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している		個人消費は、ドラッグストア販売、コンビニエンスストア販売が前年を上回るなど、総じて回復しつつある。生産活動は、一部に弱さがみられ、回復に向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、労働力需給が引き締まっており、引き続き人手不足感が強い状況にある。
> 広 島	生産に弱さがみられるものの、緩やかに回復している		個人消費は回復しつつある。生産活動は回復の動きに一服感がみられる。雇用情勢は着実に改善し、人手不足感が引き続き強い状況にある。
> 山 口	生産の一部に弱さがみられるものの、回復しつつある		個人消費は緩やかに持ち直している。生産活動は回復に向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は着実に改善し、人手不足感が引き続き強い状況にある。
四国財務局	緩やかに回復している		個人消費は、スーパーやコンビニエンスストアが堅調となっているほか、観光が好調であることから、全体としては回復しつつある。生産活動は、輸送機械が持ち直しつつあり、プラスチックが緩やかに回復しつつあることから、全体としては、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、改善しており、人手不足感が続いている。
> 徳 島	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある		生産活動は持ち直しの動きに一服感がみられるものの、個人消費は持ち直しているほか、雇用情勢は改善しており、人手不足感が続いている。
> 香 川	緩やかに回復している		個人消費、生産活動は回復しつつあるほか、雇用情勢は改善しており、人手不足感が続いている。
> 愛 媛	回復しつつある		個人消費は緩やかに回復しつつあり、生産活動は持ち直しているほか、雇用情勢は改善しており、人手不足感が続いている。
> 高 知	緩やかに持ち直している		個人消費、生産活動は持ち直しているほか、雇用情勢は改善しており、人手不足感が続いている。
九州財務局	緩やかに回復している		個人消費は、乗用車の新車販売が前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売及びコンビニエンスストア販売が堅調に推移していることなどから、回復しつつある。生産活動は、好調な電子部品・デバイスを中心に緩やかに拡大しつつある。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移するなど改善しているなかで、人手不足感が強い状況が続いている。
> 熊 本	緩やかに回復している		個人消費は、乗用車の新車販売が前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売及びコンビニエンスストア販売が堅調に推移していることなどから、緩やかに回復している。生産活動は、高水準な電子部品・デバイスを中心に拡大しつつある。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移するなど改善しているなかで、人手不足感が強い状況が続いている。
> 大 分	緩やかに持ち直している		個人消費は、百貨店・スーパー販売額は前年並みとなっており、コンビニエンスストア販売額やドラッグストア販売額は前年を上回っているなど、持ち直しの動きが続いている。また、生産活動は、緩やかに持ち直しているほか、雇用情勢は、改善しているなかで、人手不足感が強い状況が続いている。
> 宮 崎	緩やかに持ち直している		個人消費は、コンビニエンスストア販売額及び百貨店・スーパー販売額が前年を上回っているほか、レジャー・観光施設入場者数も前年を上回るなど、全体として持ち直している。また、生産活動は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつあるほか、雇用情勢は改善しているなかで、人手不足感が強い状況が続いている。
> 鹿児島	緩やかに回復しつつある		個人消費は、新車販売や観光施設入場者数などが前年を下回ったものの、百貨店・スーパー販売や家電大型専門店販売などが好調であったことから、持ち直している。生産活動は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、海外需要の減少等による弱さもみられることから、一進一退の状況にある。雇用情勢は、改善が続いているなかで、人手不足感が広がっている。
福岡財務支局	回復している		個人消費は、百貨店・スーパー販売額などが前年を下回っているが、コンビニエンスストア販売額は前年を上回っており、ドラッグストア販売額が増加に転じるなど、回復している。生産活動は、自動車国内向けを中心に足下の生産が弱含んでいるなど、横ばいの状況にある。雇用情勢は、有効求人倍率が引き続き高水準で推移するなど、改善している。
> 福 岡	回復している		生産活動は横ばいの状況にあるものの、個人消費は回復しているほか、雇用情勢は改善している。
> 佐 賀	回復しつつある		個人消費は緩やかに回復しつつあるほか、生産活動は回復しつつあり、雇用情勢は改善している。
> 長 崎	緩やかに持ち直している		生産活動は横ばいの状況にあるものの、個人消費は持ち直しつつあるほか、雇用情勢は改善している。
沖縄総合事務局	拡大している		個人消費は、百貨店・スーパーやコンビニエンスストアの販売額が堅調に推移するなど、拡大している。観光は、入域観光客数が増加するなど、拡大している。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移するなど、改善している。

（注）2年1月判断は、前回元年10月判断以降、2年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。